

【研究課題名】

血小板数および血小板関連マーカーである平均血小板容積と幼若血小板比率における相関性の検討に関する研究

このたび当院では、入院・通院されていた患者さんの試料／診療情報を用いた標記研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まない患者さんは、その旨を『6. お問い合わせ先』に示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

1. 研究の対象となる方

研究対象は2025年4月～2025年5月、山梨県立中央病院を受診した患者（入院・外来を問わない）の通常診療で採血された方

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、MPV（平均血小板容積）がIPF（未成熟血小板比率）と同様に血小板の新鮮さや骨髄の反応状態を評価するための指標として有用であるかどうかを検討することです。

研究内容としては、山梨県立中央病院で採取された検体を使用し、血小板数、MPV、IPFを測定してその相関性を解析します。対象者は成人男女患者で、健常者および血液疾患を有する患者が含まれます。

研究実施期間：各研究機関の長の許可日～2025年12月31日まで

情報の利用を開始する予定日：研究機関の長の許可日から

3. 研究に用いる試料・情報の種類等

研究に用いる試料：血液

本研究に用いる情報は診療録から必要な情報を収集し、匿名化した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、研究責任者が個人情報情報を厳重に保護し、当院のみで使用し他の研究機関への提供はしません。また、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

4. 試料・情報を利用する者の範囲

山梨県立中央病院 検査部 検体検査科 永井 薫 他

収集した情報は当院検査部でのみ利用し、情報については個人情報情報が特定されないように情報管理責任者（研究責任者）が厳重に保管します。

5. 試料・情報の管理責任者

山梨県立中央病院 検査部 検体検査科 永井 薫

6. お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代諾者の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をいただいた時点で、既に学会や論文として発表されている場合は取り消しができないこともあります。また、本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。

連絡先：研究責任者 山梨県立中央病院 検査部 永井 薫
〒400-8506 山梨県甲府市富士見一丁目1番1号
TEL：055-253-7111（代表）

-